





# エイブル倶楽部

現在の会員数 1016 名!  
うち市外会員 212 名!  
うち法人会員 6 団体

えいぶる講座

- ★「エイブル倶楽部」は、鹿島市民に限らずどなたでも入会することができます。年齢の制限もありません。
- ★1年コースは会費1,000円（高校生以下 500円）。3年コースは会費3,000円（高校生以下1,500円）で、入会・更新時に500円分のクーポン券をプレゼント。
- ★会員はえいぶる講座を1回500円で受講でき、会員対象の無料講座もあります！
- ★「えいぶる事業」チケットが割引になるものがあります。

**申込 受付中のえいぶる講座** 受講には事前に申し込みが必要です。

## 公開講座 かしまぐるっとミュージアム見学 ～岩永京吉美術館 & 床の間コーナー編

芸術の秋、のんびりお散歩しながら鹿島市内のミュージアム巡りをしませんか？ 第1回目は岩永京吉美術館の特別企画展「岩永京吉と金子剛 ～そのまなざしと対象～」の鑑賞とギャラリートーク。エイブルの床の間コーナーでは「光武洋展」の鑑賞と光武洋さんのギャラリートークもあります！

- 講師 石川 宗晴さん（岩永京吉美術館館長）、金子 剛さん（佐賀美術協会顧問）、光武 洋さん（独立美術協会会長）
- 日時 10/29（木）**1回限り**  
9：30～12：00
- 場所 エイブル1階 玄関集合
- 定員 24人（先着順） ●受講料 無料

岩永京吉さん（日本画）とその教え子である金子剛さん（油彩画）、光武洋さんの3人の作品を鑑賞します。

徒歩での移動です（片道15分程度）

## 公開講座 野菜のパワーde免疫力up！ おうちごはん講座（木曜コース）

免疫力を高める野菜を使い、美味しく、簡単な「おうちごはん」を作ります。疲れた体をリフレッシュしましょう！

- 講師 松尾 久美子さん（野菜ソムリエプロ）
- 日時 10/8（木）**1回限り**  
10：00～12：00
- 場所 エイブル2階 調理実習室
- 定員 15人
- 受講料 会員：500円 一般：1,000円
- 材料代 500円

好評につき木曜コース開講決定！

## 公開講座 親子でチャレンジ！ エコキャンドル&簡単おやつ作り

廃油を使ったエコキャンドルと、簡単なおやつを作ります。おやつメニューはお楽しみ♪

- 講師 九州電力（株）武雄営業所ホームアドバイザー
- 日時 10/24（土）**1回限り** 10：30～12：30
- 場所 エイブル2階 調理実習室
- 定員 16人
- 受講料 無料
- 対象 小学生（保護者同伴）
- 準備物 エプロン、三角巾、マスクなど

## 募集中の要望講座

- ・エイブルに講座の要望を出してみませんか？
- ・条件が揃えばどなたでも講座を開講することができます！
- ・「学びたいこと」、「教えたいこと」がある方はお気軽にお問い合わせください。  
※要望講座の掲載期間は1年です。  
※期間内に同じ曜日、同じ時間帯で条件が揃わない場合や、希望者が集まらない場合などは、募集の取り下げとなります。

	講座内容	募集期限
学びたい講座	演劇	令和2年9月
	アコースティックギター	令和3年1月
	アコーディオン	令和3年1月
	デコパージュ	令和3年1月
教えたい講座	絵手紙	令和3年7月
	タイピングレース（安富加代先生）	令和2年9月
	手芸教室（吉村ゆかり先生）	令和3年4月

## 広告 いろいろな税金 個人の税金（所得の種類）その14 ～一時所得～

今回は一時所得です。一時所得の代表的なものは、生命保険の満期保険金です。自分が契約者で、保険料を払い、自分が満期受取金で受け取った保険金について、下記の計算によって一時所得が算出されます。  
〔満期保険金（借入相殺等で引かれたものは引かれる前の額）－それまでに払った保険料〕－50万円〕÷2  
20年以上前と違い、最近の保険は運用利回りが小さく、課税対象がないものも増えてきました。いずれにしても「支払通知書」を取っておいて申告に備えてください。  
また、満期保険金の受取でも、保険料支払者と受取人が違う場合、贈与税がかかります。契約内容を確認して、税金がどうなるかを保険会社に相談してください。  
他には、宝くじ以外の賞金や懸賞当せん金、ふるさと納税返礼品等法人からの贈与などが一時所得となっています。

白川公認会計士事務所 ■鹿島市大字高津原750（鹿島家庭裁判所前）電話0954-63-4171

## くしまぐるっとミュージアム 紹介⑧ 『岩永京吉美術館』

床の間コーナー

「くしまぐるっとミュージアム」3回目は「岩永京吉美術館」を紹介します。「岩永京吉美術館」は、故 岩永京吉さんの作品の整理・展示のために2013年に開館した、私立美術館です。石川宗晴館長が、岩永さんの作品以外にもさまざまな企画展を実施されています。

～ご挨拶～

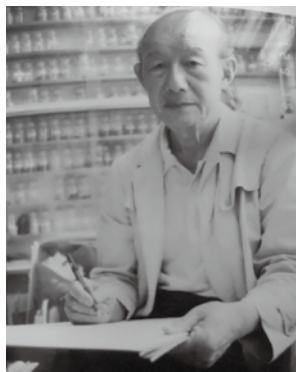
本美術館は、2013年8月11日に開館し、3か月ごとの展示替えを目標に、これまで30回の展示を行っています。

京吉は230点余りの作品を手元に残しておりますが、それらを受け取ったものとして、作品や作画過程を知ることにより、人生の一つの在り方を知りたいと思ったことが、開館のきっかけでした。したがって展示企画は、残された作品のみならず、制作過程でのスケッチ、下図にも目を向けて。作画の意思、技術、色彩設計なども含めて。80年の作画人生を振り返り、生き方の一つとして理解を進めることにしています。

そうした中、この展示空間で京吉作品との共有空間を構成したいとお話をいただいたことにより、第20回「2人展岩永京吉・荒木孝典―人物へのまなざし」、第26回「京会展」、第30回「岩永京吉と金子剛―そのまなざしと対象―」を特別企画として開催することができました。

作品に込める思い、作風の違いを対照できる空間をぜひ感じていただきたいと思います。ご来館をお待ちしています。

館長 石川宗晴



岩永京吉さん



金子剛さん(左)と石川宗晴館長(右)

今回「えいぶる講座」で「くしまぐるっとミュージアム見学」を企画しました。10/29（木）エイブルの「床の間コーナー」と「岩永京吉美術館」を見学します。詳しくは2ページをご覧ください。

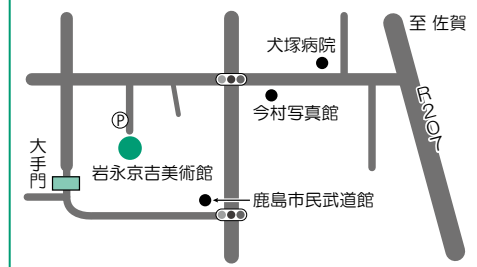


## 第30回特別企画展 岩永京吉と金子剛 ～そのまなざしと対象～

開催中～11月29日（日）

鹿島出身の二人の画家、日本画の岩永京吉と油彩画の金子剛。二人は共に教育者であり、師弟関係でした。二人の絵描きが注いだ対象へのまなざしをご覧ください。

開館：9時～17時  
休館：不定休  
※事前にお確かめください。  
料金：無料  
住所：鹿島市高津原 565-1  
駐車場あり  
電話：0954-62-2824



## 広告 「わかくす」通信 2020.10

新型コロナウイルスによる感染拡大は、社会生活に大きな影響を与えています。緊急事態宣言の解除時には、終息に向かうとの期待もありましたが、再度感染が拡大し、終息の見通しが立っていません。そのため、当事務所も、引き続き、入室時のアルコール除菌、

## 当事務所の「感染対策」

マスク着用などをお願いを続けていただいております。他方で、事務所内でも、マスク着用、定期的換気、お茶出しの見合わせなどの対応を続けていただいております。一日も早く、感染の危険を気にすることなく、気軽に相談ができるようになることを願っています。（文責/辻 泰弘）



弁護士法人朋楠・わかくす法律事務所 <http://hounan-wakakusu.com/>（佐賀県弁護士会所属）  
弁護士 辻 泰弘 弁護士 椿原 剛  
鹿島オフィス 鹿島市高津原 4296-41 鹿島商工会館2階 Tel 0954-69-8162

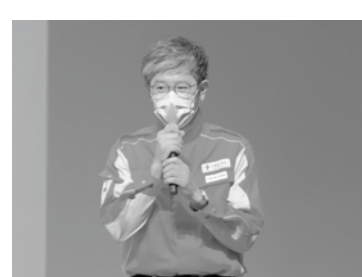


## 令和2年度 第1回えいぶる事業『避難訓練コンサート』を開催しました。 えいぶる事業

9月5日（土）県内で初となる「避難訓練コンサート」を開催しました。このコンサートは、ホールでの演奏中に災害が発生する想定で、出演者やお客さまにも訓練に参加していただくコンサートです。日本赤十字社や鹿島消防署、アルモニア管弦楽団、くしま防災サポーターズクラブなど、多くの方々のご協力をいただき、実施することができました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席は前後左右一席ずつ空けて約120人で行いました。来場者には入場前に「健康チェック表」の提出や体温測定、チケットのもぎりをご自身で行っていただくなど、新型コロナ対策への協力をしてもらい、スムーズに開場することができました。

はじめに「自分のいのちは、自分で守る」をテーマに、日本赤十字社の佐藤洋平さんによる「防災セミナー」講演。スライドを交えて、災害レベルによる避難の注意点などを解説していただきました。この日は台風10号が接近中で、防災についてより身近に感じられた方も多かったようです。



日本赤十字社、佐藤洋平さん

その後、アルモニア管弦楽団による演奏が始まり、途中で地震と火災が発生した想定で出演者、観客全員にホールから外へ避難をしていただきました。当初は駐車場を避難所に予定していましたが、台風の影響で雨が降りはじめ、1階ロビーに変更しました。

人数確認後、休憩をはさんで、鹿島消防署の方による講評と後半の演奏に入り、久しぶりにエイブルホールでの演奏会を楽しんでもらうことができました。

今回、「くしま防災サポーターズクラブ」をはじめ、多くのボランティアの方々にご協力いただき、下記のレポートもボランティアの高田さんによるものです。

また、県内初の試みということで、県内外の公共施設の職員の見学も目立ちました。



「健康チェック表」の提出と体温測定



「アルモニア管弦楽団」による弦楽四重奏



エイブル館外に避難後、集合同所へ



1階ロビーに集合、人数確認

「災害は忘れた頃にやってくる」は死語になった。今は「災害は続けてやってくる」である。「避難訓練コンサート」にスタッフとして参加した。リハーサルの効果もあって「整然」と行われた。訓練なのだから整然は当たり前なのだろうが、経験をするのとならないのでは全然違う。コンサートの途中緊急地震速報が鳴り響く。おそらく誰もが緊張したはずだ。

風水害に悩まされてきた鹿島。地震の記憶はないに等しいが、市内には「西葉断層」が走り、宝栄4年(1707年)には「鹿島地震」の記録もある。地震も決して無縁ではない。講師の日本赤十字社・佐藤洋平さんは「正常性バイアスが危険だ」と教えてくれた。正常性バイアスとは「自分は大丈夫」と思い込むことだそうだ。

避難訓練を終え、鹿島消防署の方は「『お・か・し・も』が大事」と講評してくれた。(お)押さない、(か)駆けない、(し)喋らない、(も)戻らないの4つが大事というわけだ。パニックにならない「おかしも」だが、最後の「戻らない」が一番大事なような気がする。避難訓練を終え「アルモニア管弦楽団」の弦楽四重奏。久しぶりのコンサート。心に染み入る音。いつも安心して暮らせる鹿島でありたい。貴重な経験ができて、参加してよかったと思う。……くしま防災サポーターズクラブ・エイブル倶楽部 広報部会 高田玲二



鹿島消防署職員さんによる講評



日本赤十字社による展示

◆ 昨今、いつ地震など災害が起こるか分からない時代になりました。舞台制作に関わる仕事をしていますが、公演中のこのような状況を想定した事が無かったことを反省し、今後は今日の事を参考に取り入れたいと思っています。…（50代 佐賀市）  
◆ ホールは照明器具が多いので、頭に落ちてきたらと思うととても怖いです。……………（70代 鹿島市）  
◆ コンサートと避難訓練、偶然にも台風を前に防災セミナーも聞けて、大変いい勉強になりました。コンサート、とても素晴らしい（曲目も良かった！）改めて聴きたいと思いました!! アナウンスの声が聞こえにくかったり、指示を出す方が色んな所におられて、どのアナウンスに従えばいいのか、少し考えてしまいました。……………（40代 福岡県：施設関係見学者）